

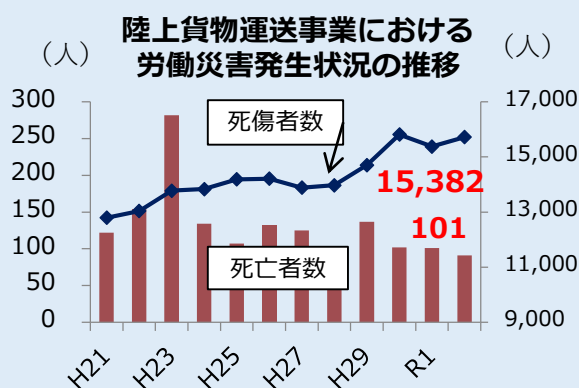
# 荷役作業の安全確保が急務です！

陸上貨物運送事業における労働災害が高止まりしています。  
新型コロナウイルス感染症拡大により配達需要の増加が見込まれる今、  
一人ひとりが安全に安心して働けるよう、安全対策に取り組みましょう！

## 陸上貨物運送事業における労働災害の傾向

### 災害は増加傾向

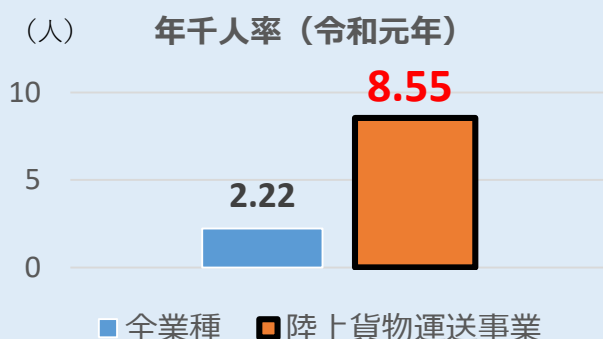
毎年約15,000人が被災しています。



出典：労働者死傷病報告(休業4日以上)、死亡災害報告  
R2は12月速報の対前年比からの年間推定値

### 発生率が他業種の4倍

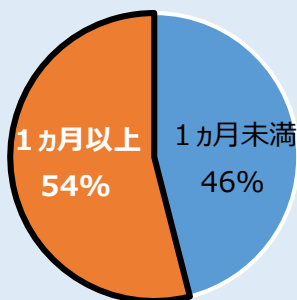
働く人1,000人あたりの死傷者数は8.55人で、  
全産業平均2.22人と比較しても高い数値です。



### 半数が休業1か月以上

荷役作業中の墜落（転落）など、  
重篤な災害が多く発生しています。

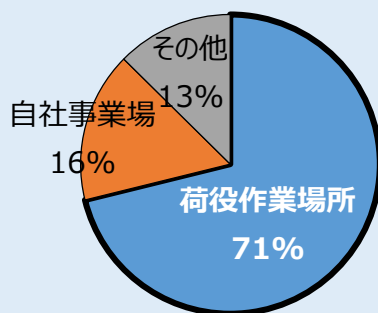
休業見込み日数（令和2年12月速報）



### 7割が荷役作業で発生

毎年約10,000件の災害が  
荷役作業場所で発生しています。

災害発生場所（H28）



災害防止のためには、

荷主、配送先、元請事業者等の皆様の取組が不可欠です！

➡ 安全対策ができているか裏面のチェックリストで確認

# 荷役作業時の死亡災害にみる災害パターン別の主な原因と対策

## いつもの作業の少しの不具合が、重大事故につながります

### ■トラック・荷台等からの墜落・転落による死亡災害

足を滑らせてリアバンパーから転落



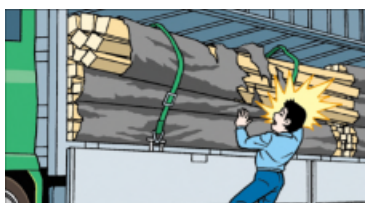
テールゲートリフターから転落



必ず保護帽を着用しよう  
荷台へのステップなど昇降設備を設けましょう

### ■トラック・荷台等での荷崩れによる死亡災害

固定ベルトを外した途端に多くの角材が落下



ドラム缶とともに転落。ドラム缶が被災者に直撃



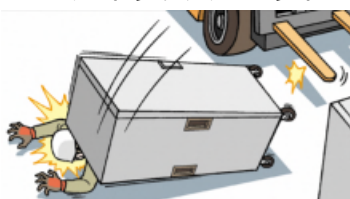
荷崩れしないよう、積み付け時に、適切な固定・固縛を行いましょう

### ■フォークリフト使用時における死亡災害

歩行者立入禁止エリアにいた被災者がフォークリフトと接触



フォークリフトアップ（上昇）時の安全不確認により被災者がコールドロールボックスパレットの下敷きに



フォークリフトのオペレーターやその周囲の作業者は、定められたルールをしっかりと守りましょう

### ■トラックの 無人暴走による 死亡災害

坂道で動き出した無人トラックを止めようとして轢かれる



積雪路面で無人トラックが動き出し住宅ガレージの支柱に挟まれる



降車時には必ず逸走防止措置（パーキングブレーキ→エンジン停止→ギアロック→輪止め）を実施しましょう

### ■トラック後退時 における 死亡災害

トラックの後退誘導時にトラックと電柱に挟まれる



トラックの荷役作業指示中に 後退してきた別のトラックに接触



後退誘導のルールを定めましょう  
トラックを後退させるのは後方確認ができるタイミングにしましょう

荷役作業を安全に行えるよう、床の凹凸をなくしたり、明るくしたり、整理整頓を行うなどの基本的な対策も大切です

陸上貨物運送事業における荷役作業の安全対策ガイドラインをご活用ください



# 荷役作業の安全対策チェックリスト

(「陸上貨物運送事業における荷役作業の安全対策ガイドライン」より)



## ① 貴社の荷役場所を安全な状態に

- ☐ 荷の積卸しや運搬機械、用具等を使用するための十分な広さを確保している
- ☐ 十分な明るさで作業している
- ☐ 着時刻の分散など混雑緩和の工夫をしている
- ☐ 荷や資機材の整理整頓をしている
- ☐ 風や雨が当たらない場所で作業している

## ② 墜落、転倒、腰痛等の対策

- ☐ 墜落や転落を防ぐ対策をしている  
(手すりやステップ、墜落制止用器具取付設備(親綱等)の設置等)
- ☐ つまづきやすい、滑りやすい場所の対策をしている  
(床の段差・凹凸の解消、床面の防滑、防滑靴の使用等)
- ☐ 人力で荷を扱う作業では、できるだけ機械・道具を使用している

## ③ 陸運事業者との連絡・調整

- ☐ 荷役作業を行わせる陸運事業者には、事前に作業内容を通知している
- ☐ 荷役作業の書面契約をしている
- ☐ 配送先における荷卸しの役割分担を安全作業連絡書等で明確にしている
- ☐ 安全な作業を行えるよう余裕を持った着時刻を設定している

# 現場で取り組まれている好事例

(「陸上貨物運送事業における労働災害防止対策好事例集(亀戸労働基準監督署)」より)



墜落・転落防止：昇降台の導入



墜落・転落防止：三点支持の徹底

腰痛・転倒防止：準備体操の実施



# 職場における新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するためのチェックリスト



長時間労働の解消等のためには、荷主の理解と協力が必要です。

※トラック運送事業者の法令違反行為に荷主の関与が判明すると荷主勧告を発動し、「荷主名」及び「事案の概要」が公表されます。



詳細は国土交通省リーフレットを参照⇒  
<https://www.mlit.go.jp/common/001296713.pdf>

## ※違反原因行為の例

<p>荷待ち時間の恒常的な発生 「ええ、まだですか？」 「はい、もう少し待ってて」 「お客様、お待たせして申し訳ないです…」 荷主の都合による長時間の荷待ち時間が恒常的に発生 ⇒過労運転防止義務違反を招くおそれ</p>	<p>非合理的到着時刻の設定 「配達してくれないと困るから早く来てほしい」 「お客様、お待たせして申し訳ないです…」 適切な運行では間に合わない到着時間の指定 ⇒最高速度違反を招くおそれ</p>	<p>重量違反等となるような依頼 「はい、お願いします」 「お客様、お待たせして申し訳ないです…」 積込み直前に貨物量を増やすよう指示 ⇒過積載運行を招くおそれ</p>
---	---	--



# ロールボックスパレット

## 使う前の5つの基本チェックリスト

ロールボックスパレットを使う時は、次のチェックリストで、基本の作業方法を点検しましょう。あなたや周りの人たち、そしてあなたの運ぶ大切な荷物を守るため、**すべての項目にチェックがついた状態になってから、作業を始めましょう。**

### 作業前点検リスト

確認日

年 月 日

確認担当者名

#### 倒れそうになったら無理に支えず逃げること

人が支えられる重さではありません。とにかく身を守ることが優先です

#### 停止時は必ずキャスターストッパーを使用すること

わずかな傾き、風でもパレットが勝手に走り出すことがあります

#### 原則として、傾いた場所では使用しないこと

わずかな傾きでもパレットが思わぬ方向に動き、転倒するおそれがあります

#### 両手で持って運搬すること

片手で引っ張ると、止める時にパレットをコントロールできず止められないことがあります

#### 作業にふさわしい装備をすること

手足の保護だけでなく、しっかりと操作できる装備が不可欠です

ロールボックスパレット使用時の労働災害防止マニュアル

安全に作業するための

8つのルール



とても便利なロールボックスパレットですが、下働きや手足の負担による事故などが多発しています。

ロールボックスパレットは、カゴ車とも呼ばれる人力運搬車です。開口部以外の3面がバネで覆われているため、荷崩れや荷物の損傷を防いで移動できるだけでなく、店舗では接客機として活用することもできます。このように、物流の効率化や作業員の負担軽減に貢献する、とても便利な存在で、多くの現場で活用されています。

そんな利便性の高いロールボックスパレットですが、近年では労働災害が多発しており、その約4割が下働き事故でした。また、ケガをした半数近くの方が作業経験1年未満だったことから、作業に不慣れな現場での対策がカギとなります。

このリーフレットでは、ロールボックスパレットを使うときに、守ってほしい「8つのルール」を紹介しています。ぜひ、お読みになって、安全に作業を行ってください。

厚生労働省・都道府県労働局・労働基準監督署



作業者に身につけてほしい望ましい装備例



パンフレット「ロールボックスパレット使用時の労働災害防止マニュアル安全に作業するための8つのルール」もご確認ください。



テールゲートリフターのチェックリストは裏面へ▶

# テールゲートリフター

テールゲートリフターを使う時は、次のチェックリストで、基本の作業方法を点検しましょう。あなたや周りの人たち、そしてあなたの運ぶ大切な荷物を守るため、**すべての項目にチェックがついた状態になってから、作業を始めましょう。**

## 作業前点検リスト

確認日	年 月 日	確認担当者名
-----	-------	--------

## 昇降板では荷を後退りで運搬しないこと

引っ張ると後ろは見えません。この方法で荷台高さからの転落が頻発しています

**キャスト付きの荷を使う時は、必ずストッパーを使用すること**

作業者が支えても事故につながる可能性があります

**原則として、傾いた場所では使用しないこと**

ロールボックスパレットが思わぬ方向に動くことがあります。水平な場所で使用してください。

## 昇降板の位置を目視で確認してから運搬すること

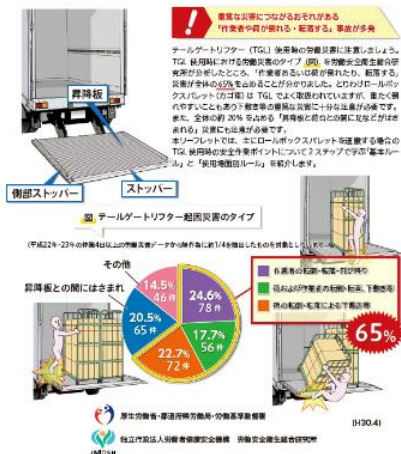
荷台高さにあると思い込んで、転落する可能性があります

## 作業にふさわしい装備をすること

手足の保護だけでなく、しっかりと操作できる装備が不可欠です

**テールゲートリフターを安全に使用**するために

**2 STEP** で学ぶ **6 基本 & 11 場面別ルール**



作業者に身につけてほしい望ましい装備例



パンフレット「テールゲートリフターを安全に利用するために 2ステップで学ぶ6基本&11場面別ルール」もご確認ください。



## ロールボックスパレットのチェックリストは裏面へ▶

# 改良しましょう ロールボックスパレット

## 3つのポイントを提案します！

ロールボックスパレット（カゴ車）使用時の労働災害を防止するため、ロールボックスパレット自体も、より安全性に配慮したものが望まれています。この度、厚生労働省と労働安全衛生総合研究所では、ロールボックスパレットのメーカーの協力の下、安全性向上のための3つのポイントを盛り込んだ改良モデルを製作し、その詳細を本リーフレットにまとめました。ロールボックスパレットを導入する際には、これら3つのポイントを考慮した製品を選びましょう。



『ロールボックスパレット使用時の労働災害防止マニュアル 安全に作業するための8つのルール』も取り組んでください。こちらのQRコードからダウンロードしてお使いください。



厚生労働省・都道府県労働局・労働基準監督署



NIOSH

独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所



一般社団法人 日本パレット協会





## 取扱い時の危険

### その 1 手がぶつかる・はさまれる

ココに注意！



ドアを通過する際に手をぶつけた様子  
※外側のパイプ以外に持つところがないので危険！

●手押し台車のような持ち手がないため、四隅のパイプが持ち手になります。●そのため、ドアなどの狭い通路で手が壁にぶついたり、はさまったりしてケガをするおそれがあります。●大きいサイズのロールボックスパレットでは、左右のパイプとパイプの間が長くなるので、両手を肩幅よりも広げて持つことになり、力が入れにくくなります。

改良

1

専用持ち手をつける

縦持ち手  
(押し・引き用)



よこ持ち手  
(押し・引き用)



縦持ち手  
(よこ押し用)



#### 持ち手がじゃまにならない工夫

専用持ち手は右側面だけにあり、左側面に持ち手の差込口が設けられています。この工夫により、これまで通り2台を並べても隙間なく配置できるようにします。



持ち手を本体隙間にスッキリ収納！

#### ポイント

●手のぶつかり・はさまれを防ぐことができます。右側面の縦・よこ向きの専用持ち手で運搬できます。●持ち手は縦・よこの両方ではなく、いずれかを選んで装備することが可能です。●「どこでも持てる」方法を改め、取扱いルールを明確にすることができます。●側面パネルから持ち手が出っ張っていますので、体にぶつけないように気を付けましょう。



#### 持ち手形状によるメリット・デメリット

	メリット	デメリット
縦	身長差に対応しやすい	幅の調整不可
よこ	幅の調整可	身長差の対応不可

## 取扱い時の危険

### その 2 キャスターの逸走により転倒



ココに注意！



4 輪旋回（自在）タイプを傾いた路面で直進させようとしている様子  
※キャスター旋回の影響で逸走してしまい危険！

● 4 輪旋回（自在）キャスターは、小回りが利きやすく重宝されています。● その反面、直進しづらいので、重い荷を積んだ時などは思い通りにコントロールできません。● 僅かな傾きでも車輪が谷側を向くので、コントロールを失い逸走させてしまうと、転倒するおそれがあります。● 転倒しそうになったロールボックスパレットを無理に支えると、作業者が下敷きになるおそれがあり非常に危険です。

## 改良 2

### 旋回（自在）・固定の切替機構をつける

ペダルを上げると…

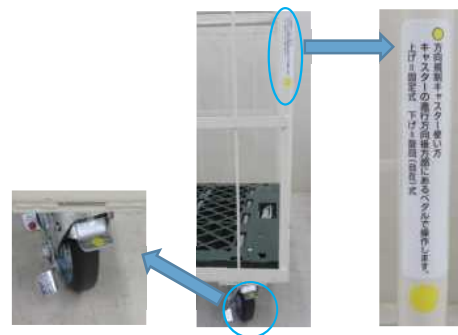


旋回（自在）



#### 切替機構が一目でわかる工夫

切替機構付きキャスター上のパイプにシールを貼ることで、位置と使い方がわかるようになります。ストッパーも同じようにシールを貼れば位置が確認しやすく、安全作業と作業効率アップにつながるでしょう。



#### ポイント

- 方向規制キャスターと呼ばれる機構によって、旋回（自在）と固定をペダルの上げ・下げで自由に切替ることができます。
- ペダルを上げた後に車輪の向きを固定するために少し動かす必要があります。● 固定を基本とすることで傾いた路面でも十分な直進安定性が得られます。● トラック荷台などの狭い場所でのよこ方向の微調整には旋回（自在）へ切替えるのがよいでしょう。

#### ！ 注意

方向規制キャスターを固定で使う場合、進行方向が 1 方向に限定されます。詳しくは各製品の仕様を確認してください。



## 取扱い時の危険

### その 3 バーが跳ね上がって体にぶつかる

ココに注意！



サイドバーを解除して跳ね上げた様子  
※高く上るとその反動で勢いよく落ちてきて危険！

●サイドバーが外れにくいと跳ね上がりやすいです。●サイドバーが落ちてきて、バーの先端部が顔などにぶつかるおそれがあります。●作業者だけでなく、荷を損傷するおそれがあります。

改 良

3

サイドバー跳ね上がり防止具をつける



#### ポイント

●跳ね上がった後も防止具によって止める構造としました。●既存のサイドバーにも後付けしやすいです。●防止具だけに頼らず、サイドバーの取扱いは手袋着用の上、両手で丁寧に行いましょう。



注意

防止具とサイドバーの隙間に指をはさまれないように注意しましょう。

本リーフレットに掲載した改良モデルは、ロールボックスパレットに関する日本産業規格（JIS Z 0610）の所管団体である日本パレット協会の会員各社からの協力を得て、コンセプトから設計、製作までを円滑に進めることができました。以下に記して謝意を表します。

協力（50音順）：温海機工株式会社、三栄マテハン株式会社、日本物流機器株式会社、ヤマト・インダストリー株式会社

（R3.7）